

# Suzuka - COOL CHOICE News

2021年(令和3年)6月号  
 鈴鹿市 環境政策課  
 059-382-7954  
 kankyoseisaku@city.suzuka.lg.jp

## 江戸と令和のクールチョイス！ エコ家電を賢く使おう！

省エネでエコな暮らしを実践するヒントは、実は江戸時代にたくさんあるというのが近年の話題。江戸時代の日本は、限られた資源とエネルギーを活用し、リサイクルやリユースが当たり前に行われていた循環型社会でした。大量消費時代を経て新たな循環型社会へと舵を切っている今、江戸時代に学ぶことは少なくありません。とはいえ、現代の便利で快適な暮らしは大切にしたいもの。家電製品だって欠かせません。

エコを実現する循環型社会と、快適な暮らし。これをつなぐのは、私たちの心構えと進化する省エネ家電の使い方にあるといえます。では、現代を生きる私たちができるのは具体的にどんなことでしょうか。



たとえば、風呂敷。レジ袋削減に伴ってエコバッグを持つ人が増えましたが、風呂敷を見直す声も再燃しています。風呂敷といえは、長いものも平たいものも、荷物の形を選ばず1枚で包んで運べるのも利点のひとつ。「包むもの」と思っているかもしれないですが、四隅を結んでバッグのように持ち歩くこともできます。最近はおペットボトルなどから作った再生繊維製のものもありますし、木綿やポリエステルなどの風呂敷なら洗って何度でも使えるのも、エコな暮らしにぴったりです。

### 江戸時代を見習う生活スタイルは、 それぞれができるところから！



左からかまど、練馬大根、竹の籠（たが）をはめた桶



また、多くの江戸庶民は、衣類を古着屋で購入して、リサイクルが盛んでした。夏用と冬用がある布団や夏しか使わない蚊帳などは、必要ときに借りて使うことが当たり前のように行われていました。これはレンタルの走のりと言えませんが、モノをもたず共有するという点では、現代のシェア文化と通じるところがあります。こうした暮らし方は、社会全体でみれば「作りすぎない」「無駄をつくらない」システムといえるでしょう。現代では不用品買取などを通じてリユースが進み、また車や家をシェアするマッチングサービスも誕生していて、シェア文化は広がっています。また洗剤やシャンプーなど、量り売りスタイルの復活の兆しもあります。江戸時代の人々の省エネでエコな暮らしに学びながら、私たちにできることはたくさんあります。市民の皆様も脱炭素に向けたライフスタイルを選択しましょう。

環境省が開発しているクールチョイスアプリのダウンロードはこちらから！！

6月5日号広報のクロスワードパズルの回答



あ い う え お  
 か き け こ け  
 さ し じ しゃ せ

シ	イ	オ			フ		
ヨ	カ			エ	コ	ラ	イ
ク		ル		ネ		ス	キ
ト				ル		チ	キ
ン				ギ		ツ	
				イ		ク	
							ガ
							キ

※本文については、環境省のCOOL CHOICE編集部の記事を引用しております。